

武石地域協議会 会議概要

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 23 年 4 月 20 日 午後 7 時 00 分から午後 9 時 00 分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 第 1 会議室
- 4 出席者 上野正司委員、大沢春樹委員、柿嶌祐子委員、清住章雄委員、清住洋子委員、越 博徳委員、小宮山昌武委員、小山洋江委員、下村孝明委員、滝沢由美子委員、竹内利通委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、松代典之委員、森美由紀委員、柳沢裕子委員 (欠席 4 名) 新井繁雄委員、北沢賢二委員、樋澤たえ子委員、松井幸夫委員、
- 5 市側出席者 伊藤地域自治センター長、木藤地域振興課長、山口市民生活課長、近藤健康福祉課長、牛山産業観光課長兼建設課長、掛川武石教育事務所長、児玉地域振興課長補佐
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0 人 記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日 23 年 4 月 25 日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会 (滝沢副会長)
  - 2 会長あいさつ (清住会長)  
23 年度最初の協議会、今回から自治会長の代表 2 名が変更になった。
  - 3 センター長あいさつ (伊藤センター長)  
①センター長のあいさつ、②市の震災支援対応の状況について、③23 年度の武石地域の重点目標について、④城灯りの景について
  - 4 報告事項  
(1) 自治会関係委員の委嘱について  
(会長)平成 23 年度の役員改正に伴い自治会長の代表 2 人が改選、委嘱された。任期は平成 24 年 3 月 31 日まで (新委員 2 名自己紹介)  
(2) 4 月の人事異動について  
資料に基づき自己紹介 (センター長、次長、牛山課長、掛川政策幹)  
(3) わがまち魅力アップ応援事業選考に関する意見書の回答について  
【資料説明】(事務局)  
3 月 17 日にプレゼンテーション選考を実施した結果を意見書にまとめ提出いただいた。その回答が 4 月 14 日付で示されたので報告する。選考した 4 事業の内、特色あるまちづくり事業に申請し、プレゼンテーション選考で一部保留となっていた武石炭人会の事業は 4 月 11 日付で会長から取り下げの連絡があったので取り下げとする。正式に採択となった団体は、  
①特色あるまちづくり事業 武石音頭・武石小唄を愛し保存する会 (新規) セツケ公友会 (継続)  
②個性あるふるさとづくり事業 堀之内自治会(新規) 築地原自治会(新規) 藪合、余里、鳥屋、大布施巣栗、西武 (継続)
- 委員了承 —
- 5 協議事項  
(1) オフトーク放送のアンケート結果について  
【資料説明】(事務局)  
①武石オフトーク通信の現状と課題  
②武石オフトーク通信に関するアンケート結果について  
③武石地域の今後の情報伝達について  
平成 23 年 1 月に実施したアンケート結果を中心に説明した。次第のその他にある緊急情報メール配信についても、関連で一括協議をするため説明した。  
  
【主な質疑・意見】  
(会長)大切な問題なので、本日結論を出すものでもない。何回かに分けて協議していくため、今回はフリ

ートークとしたい。

(委員)商店などの放送は有料か。

(事務局) 営利放送は有料、オフトーク加入者は1回300円、非加入者は2,000円

(委員)老朽化しいずれダメになるので4~5年の間に考えるということか。

(事務局) 機材の故障等も考えられるが、事業展開しているNTTがオフトーク事業からの撤退を近い将来に考えている様子がある。NTTやオフトークを実施中の市町村の状況を調査し検討したい。

(委員)NTTが事業から撤退したらオフトークの維持はできない。NTTの意向を調査して、住民に周知したらどうか。

(委員)アンケートは何回とっても代替えとなる決定的な良い意見は出てこない。行政がリードして検討を深め決定するべきだ。

(委員)現在使用中の機材が壊れたらおしまいということか。

(事務局) バックアップの態勢や機材は整えてあるのですぐにダメになるというものではない。

(委員)緊急や災害の伝達方法はいろいろあり、行政も全市的に考えているので問題にはならない。オフトークがなくなって一番困るのは行政放送がなくなること、そこをよく検討する必要がある。

(委員)放送で重要なのは防災のお知らせである。今災害があったらさっぱり情報が入らなくなり、孤立してしまった場合困ってしまう。防災放送について検討するべきだ。

### 【協議内容】

農協による地域集団電話と有線放送事業を行政が引き受け、有線放送の代替としてオフトーク放送が始まった経過と、オフトークが行政放送を主とし電話機能を持たなかったために負担金を徴収してこなかった経過の説明を基に、オフトーク放送の現状と課題について協議した。

①施設・設備が老朽化し、事業展開するNTTが撤退をほのめかしているためオフトーク放送の継続は長期的には望めない、②オフトーク放送の代替えとして有線放送を継続する場合は加入者の応分な費用負担が必要不可欠となる。③その場合、初期投資に係る費用の一部は上田市が補助するが地域予算の活用も考えられる。という現状認識がなされた。

今後の協議としては、①オフトークに代わる音声告知は必要か、②必要な場合どのような方法が望ましいか、③地域予算の活用や住民負担を含めて費用をどうするか、これら3点を踏まえ④今年度中にオフトークに代わる情報伝達手段のあり方について地域協議会としての結論を出す。ということでした承された。

### 【その他】

(委員)長野県は森林の活用と環境保全のために森林税を導入したが、獣害が増加する中、柵で囲ったり殺したりするのは別に、環境保全を実施している事例はあるか。

(担当課長)事例はあるが今説明する資料がない。次回に説明したい。

(委員)丸子西内地域の「和子」の信号について、武石方面からの右折は朝夕ラッシュ時に非常に困難になる。改善を検討いただきたい。

(担当課長)警察との協議の機会があるので、その時に伝えたい。

(委員)持ち寄り分基金の用途について、協議する機会がほしい。(複数委員)

(会長)過去に基金の用途について分科会を設け検討した経過がある。その結果が公園化構想である。武石の地域づくりを考えたとき、公園化構想で基金を活用することを検討したい。また、その他に使えるものも検討していく。基金は何でも自由に使えると思っている住民も多いが、持ち主は上田市長で、取り崩しに当たっては市の予算査定や議会の審議を経るのが当然求められる。その中で、武石に必要なものに使いたい。今年も基金の用途については地域協議会の重要検討事項であるので十分協議したい。

(委員)早く使ってしまうやなくなってしまうという話を聞くが。

(センター長)早く使ってしまうという意見や、ずっと持っていたほうがいいという意見がある。現実的には決まっていない。

(委員)雲溪荘の指定管理が公社で継続されたという話を聞いた。公社の皆さんが、今後の雲溪荘の経営について考えていることや意気込みを聞かせてほしい。民間のアイデアを受け入れる考えはないかも知りたい。

(担当課長)次回以降、公社事務局長など公社職員が説明する機会を作りたい。

### 【次回日程】

協議の末 5月25日(水)と決定する。